

地域づくり協議会だより

発行日：平成27年11月1日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会
一宮市木曾川町内割田一の通り27（一宮市木曾川庁舎内） 電話：84-0005
ホームページ <http://138kisogawa.org>
メールアドレス k-chiki@orihime.ne.jp

*** 団体紹介 ***

木曾川町連区公民館長 山口 昭雄

「公民館」という言葉から、みなさんはどんな姿を思い浮かべられますか？

木曾川町では、まず町内あるいは区の公民館とそこでの活動、そして町及び文化協会などを中心に運営されてきた中央公民館とそこでの諸団体の活動・行事、をイメージされる方が多いのではないのでしょうか？

実は合併後、旧一宮市の公民館制度が新市域にも適用されることとなり、連区ごとの公民館組織によって文化活動を中心とした地域活動が、その規約に基づいて行われて行くことになったのですが、その新しい組織体制と活動の流れが住民のみなさんに十分理解されていないのではないか・・・というご指摘を、あれから10年経った今、改めて受けることが多くなりました。

現在の公民館活動の軸になるのは公民館長、それを行政側から支えるのが公民館主事ということですから、こんな事態の責任はひとえに公民館長にあるということになります。

一つ言い訳をさせてもらいますが、私は館長就任当初から住民活動の中に「木曾川町らしさ」を残していきたいと願っていました。そこで考えたのが、町の文化スポーツ活動の両輪として力強く住民を牽引してきた「文化協会」「体育協会」の流れを汲んで、今もその活動を継続発展させている「木曾川文化団体協議会」「木曾川文化スポーツクラブ」のみなさんに“共催”という形で参加してもらうということでした。ほかにも「木曾川地区地域福祉ネットワーク会議」「木曾川文化会館建設ワークショップ」のみなさんにも同様のお願いをしています。

ところが一宮市の制度上はこれが「特例」とされ、なにかおさまらない形になっているため、みなさま方に不可解な印象を与える結果になっているわけです。つまり、ご指摘の件の責任は公民館長にあるのです。

しかし、自治体が大きくなればなるほど必要なのは地域の主体性であると言われ、その個性的な発展が望まれているところです。これは一宮市公民館の理念でもあり、だから一方で「地域づくり協議会」の設置が各連区に広げられていったものと理解しています。

さて以上の理由で、この木曾川町公民館のあり方を独自性も含めてすっきりとご理解いただき、今後の事業に支障なくご参加いただくためにも、現行の体制と事業についてきちんとお示しする義務が館長にはあります。

限られたスペースですが、まずは大枠についてご理解いただければ幸いです。

活動団体

木曾川公民館定期利用グループ	木曾川文化団体協議会加盟グループ	公民館活動協力団体
池の華クラブ、木曾川水墨画クラブ 女性コーラスもくせい、ののはな太鼓 木曾川大正琴クラブ、Team一豊 健康ジャギークラブ、木曾川ヨガクラブ など65団体	育樹会、木曾川合唱団、ハビスマ 木曾川絵画同好会、木曾川謡曲クラブ 木秀会、美濃岳精会、柔和会、林社会 宮城社脇田会、寿江女会など42団体	NPO法人・木曾川文化スポーツクラブ 木曾川文化団体協議会 木曾川地区地域福祉ネットワーク会議 木曾川文化会館建設ワークショップ

公民館の事業

事業名	担当部	活動内容
魅力ある地域づくり事業	魅力ある地域づくり部	盆踊りの集い、社会見学など
家庭・青少年学習事業	家庭学習部	親子でお菓子作り体験 泥団子づくり体験、紙すき体験など
成人・高齢者学習事業	成人学習部	郷土の歴史、16ミリ映画鑑賞 街道ウォーキング、蓄音機・音楽回想法など
女性学習事業	女性学習部	趣味の工芸品作り(ネックレス、コサージュ) 母大福作りなど
体育レクリエーション事業	体育レクリエーション部	木曽川町連区市民体育祭
学習発表会事業		文化・芸能祭
女性コーラス事業		女性学級コーラス
女性学習部・地域福祉ネットワーク会議共済事業	女性学習部・地域福祉ネットワーク会議	地域福祉と住民の集い

*** 行催事報告 ***

敬老会&一豊まつりについて

【 敬老会 】

平成27年度木曽川町連区敬老会が、9月12日(土)木曽川体育館で、開催されました。今年度の対象者(75歳以上)は、3,833名で木曽川町の人口34,015名の約11%相当でした。

参加者は、会場に設けられた約1,000席をほぼ満席に達するほどの盛況振りで、また、3階に設けられた一般席も、かなりの人が、見物にいられていました。



敬老会のアトラクションは、漫談(かந்தらう)と冠二郎さんの十数曲に及び熱唱でした。皆さん一言も聞き漏らすまいと、静かに聴いておられ、演者と聞き手の一体感を強く感じる、すばらしい敬老会であったと思います。来年も楽しみです。



【 一豊まつり 】

第32回一豊まつりが、9月13日(日)好天に恵まれたなか、盛大に行われました。今年は一豊役として中野一宮市長が、乗馬されました。

市長は、一豊役を引き受けるに当り、乗馬の練習をされたとのこと。その甲斐あってか? 無事出発点の外割田八剣神社前から終点の黒田小学校まで、堂々の行進でした。まるで山之内一豊の再来かと思うような乗馬姿ではなかったでしょうか。

沿道では、おおぜいの方がこの祭りを盛り上げてくれました。



さらに、一豊の甲冑隊には、有松桶狭間、岡崎、東浦といった三河方面からの多数の応援もあり、さながら戦国時代の絵巻物語の様相でした。

黒田小学校のグラウンドには、各種飲食店が多数出店されており、参加者の楽しみが更に大きく膨み、観て楽し・食べて旨しの満足な一日ではなかったでしょうか。

来年も楽しみにしています!!

